

エチゼンダイモンジソウ

渡 辺 定 路

この植物を私が最初に採集したのは1969年5月下旬の博物館の採集会の時でした。家に帰って植物誌、原色植物図鑑(中)、大日本植物誌ユキノシタ科で調べても該当するものがないので、これは新種ではないかと考え、11月下旬に金大の里見先生に見せたところ、先生も新種らしいということになり、1970年5月26日に里見先生を現地に案内した。その後里見先生は東大の標本館で満州、中国等のユキノシタ属を調べても該当するものはなく、新種に間違いないと確信を持たれたようでした。そうこうしているうちに1972年5月になり若林氏が金大に訪れた際に、私の標本を見て感激し、里見先生からその標本を譲り受けて研究し、また現地に訪れ、生きた材料、標本を採集し、外国文献もいろいろ検討した結果、新種であることに間違いなことが判明したので、和名は私がエチゼンダイモンジソウと名付け、1973年4月発行の植物分類地理 vol. xxv, No. 4~6に「邦産ユキノシタ属Diptera 節及びその一新種について」について発表。若林氏の研究によるとDiptera 節は東アジアに分布し14種を含み、中国に8種、日本に6種産する。日本産6種の特徴は表Iの通りである。

	染色体数(2n) (基本数)	染色体の大きさ	種子表面	修酸石灰の結晶(葉に含まれる)	開花時期	花卉の脈数	葉のきれこみ
ジンジソウ	22 (11)	大	大小2種類の突起	針状	9~11月	多	7~11列 縁辺には不齊の鋸歯 欠刻を有する
ハルユキノシタ	20 (10)	大	大小2種類の突起	〃	4~5月	〃	極めて浅く13~17裂
ユキノシタ	36・54 (9)	小	大小2種類の突起	金米糖状	6~7月	〃	縁辺極めて浅く分裂
ダイモンジソウ	22 (11)	小	1種類の突起	〃	9~10月	少	5~17浅裂
センダイソウ	20 (10)	中	1種類の突起	〃	10月	〃	7~9浅裂
エチゼンダイモンジソウ	20 (10)	中	1種類の突起	〃	5~6月	〃	掌状に5~7深裂

6種間の関係については、 $2n=22$ (ジンジソウ、ダイモンジソウ) $2n=20$ (ハルユキノシタ、センダイソウ、エチゼンダイモンジソウ) $2n=34\cdot56$ (ユキノシタ) で基本数は $X=11$ 、 $X=10$ 、 $X=9$ で、これらの3群は各々まとまつた分類群と考えられる。

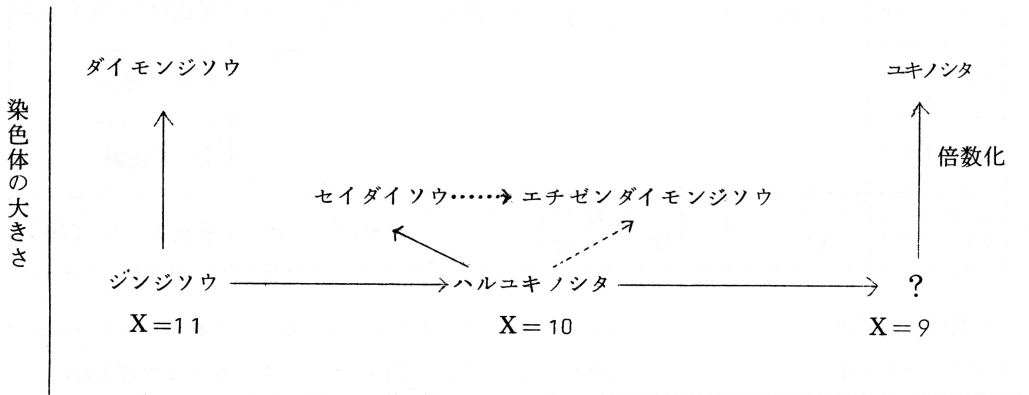
染色体の大きさは、ジンジソウ、ハルユキノシタでは大変大きく、ダイモンジソウ、ユキノシタでは小さい。進化の過程において染色体の大きさの退化及び基本数の減少は広く認められている。

基本数の減少からジンジソウ→ハルユキノシタ→ユキノシタの祖先型が考えられる。ダイヤモンドソウ、センダイソウは染色体の大きさの退化を伴いながらそれぞれ、ジンジソウ、ハルユキノシタに似たものから、ユキノシタは $2n=18$ をもつた原始的な種を仮定し、そのようなものから倍数化及び染色体の退化によつて導びかれたものと考えられる。エチゼンダイヤモンドソウは、ハルユキノシタ、センダイソウより染色体の端に一次狭帯を持つ染色体が多い。このことから特殊化しているものと考えられると述べているこれら6種の関係を図示すると図Iのようになる。

私は丈競山にはハルユキノシタが多いことや、生育場所がハルユキノシタより悪い水分の多い谷川の流面の岩上や冠水するような岩場であることからハルユキノシタから分化したものと考ええる。



図 I



県内のユキノシタ属 (*Saxifraga*)

- (1) *Saxifraga acerifolia* Wakabayashi et Satomi エチゼンダイヤモンドジソウ
福井県坂井郡丈鏡山北側の谷筋(9840、11100、11101、12505)
- (2) *Saxifraga fortunei* Hook. fil.
- (a) var. *alpina* (Matsum. et Nakai) Nakai ミヤマダイヤモンドジソウ
大野市三の峯(9656)(FM) 経ヶ岳(5674)
越前、大峰以東の本州、北海道、四国の高山
- (b) var. *incisolobata* (Engler et. Irmischer) Nakai ダイモンジソウ
大野市三の峯(9622)(9631) 赤兎山(7706) 荒島岳(5757)
経ヶ岳(11749) 大野郡和泉村入谷(9563) 勝山市法恩寺山(FM) 杉山(FM)
池ヶ原(4750) 武生市若須岳(FM) 敦賀市池の河内(7471) 岩龍(6826)
日本全土、満州、中国等に分布
- (c) var. *partita* (Makino) Nakai カエデダイヤモンドジソウ
勝山市杉山(FM) 大野市蠅帽子川(若杉) 大野郡和泉村入谷(9564)
本州(中部以西) 九州に分布
- (3) *Saxifraga nipponica* Makino ハルユキノシタ
坂井郡丈鏡山(9231、12384) 吉田郡浄法寺山(9455) 吉野岳(7579)(FM)
足羽郡美山村芦見(9463) 福井市国見岳(6564) 丹、越廼村(4219) 南条郡夜
叉地(10188、10575) 金草山(4448) 大飯郡青葉山(11099)(FM) 福井市
越智山(FM) 大野市六呂師(FM)
本州中部(武蔵、相模、甲斐、信濃、飛騨、越中、能登、越前、若狭、丹後)に分布。
青葉山あたりが西限に近い。
- (4) *Saxifraga stolonifera* Meerb ユキノシタ
大野市<五箇村>(FM) 武生市矢放町(FM) 本州(中南部)、四国、九州に分布
県内でも嶺北のものは人家近くばかりで自生かどうか疑わしい。
- (5) *Saxifraga fusca* Maxim. var. *kikubuki* Ohwi クロクモソウ
大野市三の峯(7749、9578) 赤兎山(7700) 経ヶ岳(11750)
本州(中部地方以北)、四国、九州に分布

(6) *Saxifraga japonica* H.Boiss

フキユキノシタ

石徹白以東の本州、四国（剣山）に分布

(7) *Saxifraga cherlerioides* D.Don

var. *vebunshirensis* (Engl.et Irmsch.) Hara シヨタソウ

本州（三の峯以東）北海道、千島、樺太に分布。昭和8年以後、三の峯から誰れも採集していない。